

第2 知事戦略

第 2 知 事 戦 略

知事戦略部は、「新・群馬」の創造に向けた取組の司令塔として、政策立案や県政情報の発信、デジタルトランスフォーメーションの推進、業務プロセスの改革、トップ外交、グリーンイノベーション・交通イノベーションの推進等を戦略的・機動的に実施している。

令和5年度は、「新・群馬県総合計画」の実現と「群馬モデルの発信」に向け、「湯けむりフォーラム」の開催、メディアミックス戦略高度化、「G u n M a a S」の推進など、次の重点施策等に取り組んだ。

【令和5年度に実施した重点施策及び主な取組】

1 政策立案・検証

- ・新・群馬県総合計画の普及啓発
- ・教育イノベーションの推進
- ・湯けむりフォーラム 2023 の開催

2 戦略的な情報発信

- ・ぐんまちゃんのブランド力強化
- ・動画・放送スタジオ「tsulunos」の運営・活用
- ・メディアミックス戦略高度化

3 デジタルトランスフォーメーションの推進

- ・地域課題解決プロジェクトによる実証事業の実施
- ・官民共創スペース「NETSUGEN」の運営・活用

4 業務プロセス改革の推進

- ・マイナンバーカード取得促進
- ・デジタル基盤整備

5 グリーンイノベーションの推進

- ・EVカーシェアリング実証実験
- ・再生可能エネルギー導入の促進
- ・グリーンイノベーション加速化支援

6 交通イノベーションの推進

- ・「G u n M a a S」の普及拡大
- ・公共交通網の整備・維持

7 戦略的な地域外交

- ・知事によるトップ外交の実施、国際交流イベントの実施

1 知事戦略管理費

(1) 庁議

知事、副知事、各部局長等で構成する「庁議」を開催し、県の重要施策についての協議や情報共有を行った。

開催回数	付議件数
27回	49件

(2) 総務調整費

決算額 10,024 千円

部内共通経費や年度途中で機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

区分	金額
主管課運営費（主管課経費）	2,961千円
部局調整費（赴任旅費等）	7,063

(3) 社会参加費

決算額 140 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴いて県政に反映し、また、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体の会合出席に伴う会費等の支出を行った。

所属数	金額
知事戦略部5課1所	140千円

(4) 政策調査

決算額 3,006 千円

職員の自由な発想を県政に反映させるため、政策プレゼンを実施した。一般職員から8テーマの提案があり、5テーマが令和6年度において予算化・事業化された。また、政策プレゼンの実施や新規政策の検討のため、職員が行う調査研究について「政策プレゼン調査研究費」により予算面の支援を行った。

対象調査研究数	金額
8件	1,233千円

(5) 戦略企画推進

決算額 2,365 千円

① 庁内連携ブリーフィング等運営

県の施策に係る全庁的な調整・情報共有のため「庁内連携ブリーフィング」を7回開催した。

② 寺子屋・自我作古開催支援

職員の政策立案能力の向上及び各業界で活躍する講師との関係構築を目的とした自主勉強会（寺子屋・自我作古）の開催を支援した。

・開催支援回数7回（参加者数延べ99人）

③ 奨学金返還支援

若者の県内就職を促進し、県内定着を図るため、従業員の奨学金返還支援を行う中小企業等を支援する補助金について、令和5年度は5社（28名）に対して補助を行った。

(6) 連携推進

決算額 92,615千円

① 各種知事会議

各種知事会議の場において、本県の考え方や政策を発信するとともに、近隣県との連携並びに国への要望活動を実施した。

会議名	開催状況
全国知事会議	<ul style="list-style-type: none"> ・2回（7月、11月）開催 ・令和6年度税財政に関する提案や国施策予算への要望などを決議
関東地方知事会議	<ul style="list-style-type: none"> ・2回（5月、10月）開催 ・本県発議「現下の犯罪情勢に対応する治安基盤の充実・強化について」「AYA世代のがん患者支援について」等全25項目の国への要望を決議

② 教育イノベーション・プロジェクト

ア OECD「社会情動的スキルに関する調査」(SSES)

OECDが実施する教育分野の国際調査である「社会情動的スキルに関する調査」(SSES)に日本で唯一参加し、令和4年度の試行調査に引き続き、令和5年度に本調査を県内公立・私立高校全校（79校）で行った。

イ STEAM教育推進

希望する高校に対し、STEAM教育の専門家による教員研修や授業サポートを実施した。（教員研修10校、授業サポート4校）

ウ グローバル始動人サマーキャンプ

県内外の高校生を対象に、リベラルアーツ教育を再現した1週間の合宿型プログラムを実施した。（参加人数78名）

③ 公立大学法人等評価

群馬県公立大学法人の中期計画等を審議するための評価委員会を開催した。

(7) 未来創生

決算額 205,613千円

① 総合計画・総合戦略

ア 総合計画

幅広い世代を対象に、新・群馬県総合計画の普及啓発を実施した。

- ・取組事項：新・群馬県総合計画の「まんが」4コマ編の制作、大学等での講義

イ 総合戦略

第2期群馬県版総合戦略について、令和5年10月にデジタル田園都市構想総合戦略に改訂した。評価検証に係る有識者会議を開催し、外部有識者の意見を踏まえ、評価検証結果を報告書としてまとめた。

② ふるさと納税推進

ア ぐんまふるさと納税（個人版ふるさと納税）

旅行クーポンや赤城牛関連商品などを返礼品に追加し、返礼品の充実を図るなどの工夫を行い、施策に賛同いただいた多くの方から寄附を受け入れた。さらなる寄附の確保に向け、ふるさと納税ポータルサイトである「ふるなび」及び「楽天ふるさと納税」を導入した。

（令和5年度寄附受入実績：4,151件、267,893,600円）

イ 企業版ふるさと納税

本県が行う地方創生の取組に対し、賛同いただいた幅広い企業から寄附を受け入れた。

（令和5年度寄附受入実績：26件、47,078,955円）

③ デジタル田園都市国家構想推進交付金

デジタル田園都市国家構想関係の交付金について、県が実施する事業の庁内調整、県及び市町村申請のとりまとめ等、事務手続きを行った。

区 分	実 績（国費ベース）
地 方 創 生 推 進 タ イ プ	22 事業 1,008,858,586 円 （令和4年度繰越含む）
地 方 創 生 拠 点 整 備 タ イ プ	3 事業 202,204,400 円 （令和4年度繰越含む）
デ ジ タ ル 実 装 タ イ プ	1 事業 144,243,000 円

④ 高校生リバースマンター

知事のメンターを委嘱された高校生10名からの提言を受け、県での事業化等を行った。

主 な 提 言 テ ー マ	実 施 状 況
子宮頸がん罹患率ゼロを目指して	・子宮頸がん予防啓発動画の配信 ・啓発メッセージ入り生理用品を県内高校へ配布 ・厚生労働大臣へ要望
外国人×医療	・厚生労働大臣へ要望
クビアカツヤカミキリの被害をこれ以上広げないための提言	・クビアカツヤカミキリの成虫駆除イベントを令和6年度に実施予定

⑤ 官民共創コミュニティ育成

地域の課題解決や新たな価値の創出の場となる官民共創コミュニティを育成するため、市町村等と連携し、地域別のワークショップを開催した。

区 分	開催状況	参加者
地域別ワークショップ	6回開催 (前橋・佐波伊勢崎及び高崎安中、太田・邑楽館林の地域ごとに3回)	前橋・佐波伊勢崎 及び高崎安中 49人 太田・邑楽館林 48人

⑥ 湯けむりフォーラム

地域社会が抱える様々な課題解決に向けて、時代の最先端をゆく独自のモデルや新たな価値を生み出すため、トップリーダーや有識者等による講演やトークセッションなどを行うカンファレンスイベント「湯けむりフォーラム 2023」を開催するとともに、年間を通じて熱量ある多種多様なコンテンツをオンラインで配信した。

・湯けむりフォーラム 2023

区 分	内 容
開 催 日	令和5年12月15日(金)～16日(土)
開 催 場 所	群馬県吾妻郡草津町
参 加 者 数	416名
主なプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽天・三木谷会長と知事とのトークセッション ・ 河野大臣と知事とのトークセッション ・ 群馬交響楽団アンサンブルコンサート ・ AKB48 ミニライブ ・ 「Re:HaCQ」特別セッション ・ 温泉文化フォーラム

・年間制作コンテンツ

区 分	制作実績
動 画	12本(※)
テ キ ス ト	22

※令和5年度に配信した動画総再生回数 1,438,324回 (令和6年5月1日現在)

※これまで配信した動画総再生回数 2,285,948回 (令和6年5月1日現在)

⑦ 官民共創による政策実現のためのオンラインプラットフォーム

多様な意見を取り入れた官民共創による政策実現の一環として、デジタルを活用した新たな政策形成プラットフォーム (PoliPoli Gov) により、政策に関するテーマを掲示し、オンライン上で幅広く県民の声を募集した。

募集テーマ	募集期間	意見件数
子どもや若者のために、どんな施設や場所があったらうれしいですか？	令和5年6月15日～ 7月20日	797件
どのような場所であれば、県民広場や県庁舎に行ってみたいと思いますか？	令和5年8月7日～ 11月30日	198
鉄道を使っていて良かったと感じたエピソードやおすすめポイントを教えてください！	令和5年8月21日～ 10月15日	319
子ども・若者にとっての理想の生活とそれを実現するために必要なことは何ですか？	令和5年9月5日～ 11月30日	303
十分な台数のEV公用車が土日祝日に自由に使えるとしたら、どのように活用できると思いますか？	令和5年9月19日～ 12月25日	141
群馬県をより良い地域とするために、どのような「まちづくり」を期待しますか？	令和5年10月4日～ 10月31日	197
群馬県の登山道の整備についてアイデア募集中！	令和5年10月19日～ 令和6年1月31日	176

(8) EBPM推進

決算額 10,479千円

事業見直し、R6年度当初予算要求にロジックモデルを活用した。また、モデル事業として2事業の伴走支援を実施した。人材育成の観点では、4回のEBPM研修を実施し、動画を公開した。

県政の最大目標である「県民幸福度の向上」に向け、幸福度を「見える化」し政策の方向性を示すことを目的に「令和5年度群馬県幸福度レポート」を公表した。さらに、令和6年度の幸福度レポートへの活用に向け、県民の主観的な幸福感を把握するため、「県民幸福度アンケート」を実施した。

(9) 東京事務所運営

決算額 34,609千円

在京の窓口として、県と中央省庁、国会、県人会等との間に入り、連絡調整を行うとともに、各都道府県、知事会等との連携を推進した。また、国の予算情報の収集や県人会を通じたふるさと納税の周知など、県政運営に有益な情報の収集及び県政情報の発信を行った。

・各部局と連携した中央省庁、国会等への要望活動実施件数 150件

(10) 首都圏情報発信

決算額 6,376千円

首都圏において、パブリシティ活動や物産販売、観光・イベント情報の効果的な発信等を実施し、群馬の魅力を総合的にPRした。

① パブリシティ活動

在京テレビ局、新聞社、出版社の他、ネットメディア等への取材協力や情報提供等を積極的に行い、県の露出度アップを図った。

② 首都圏における物産振興・魅力発信

期間限定の物産展等を開催し、群馬県の魅力的な物産情報等を広く発信することにより、本県の物産振興やイメージアップを図った。また、HP、SNS（X（旧Twitter）、Facebook、Instagram）等を活用し、群馬県のPRにつながる情報発信を積極的に行った。

③ 旅行エージェント等と連携した観光誘客促進

旅行会社のニーズに応じた観光情報の提供等により、本県へのツアー造成を促進し、県内への観光誘客を図った。

区 分		令和5年度	令和4年度	前年度比
パブリ シテイ 活動	テレビ・ラジオ放送実績	174件	204件	85%
	新聞・雑誌等掲載実績	37	73	51
	W e b 掲 載 実 績	926	439	211
	広 告 料 換 算 額	5億4千万円	6億3千万円	86
ツ ア ー 造 成 件 数		42件	62件	68
物 産 展 来 場 者 数		2万5千人		
物 産 展 売 上 額		587万円		

2 メディアプロモーション費

(1)メディア戦略推進

決算額 20,270千円

① ぐんま応援びと

SNSで本県の魅力発信を行っている県民による、草の根的な発信を推進する事業として、3つのテーマで写真や動画の投稿コンテストを実施した。

・テーマ及び期間

テーマ	期 間	投稿数
ぐんまの風景・食べもの (写 真 部 門)	令和5年4月10日 ～令和6年1月31日	16,110件
ぐんまの風景・食べもの (動 画 部 門)	令和5年4月26日 ～令和6年1月31日	227
ぐんまのいちご (写 真 部 門)	令和5年2月1日 ～令和6年2月29日	261

・フォロワー数等実績

区 分	内 容
各テーマ受賞者の SNS アカウントフォロワー総数	27,077 人
ぐんま応援びと SNS アカウントフォロワー数	19,970
ぐんま応援びと投稿作品の二次利用回数※	14 回

※投稿作品は県の各種広報媒体等に利用可能としている。

② デザインマネジメントチームの設置

会計年度任用職員 1 名をイラスト動画デザイナーとして配置し、庁内のチラシ・ポスター等の広報物に係る相談やデザイン支援を実施した。

- ・ 庁内制作等の受付件数 273 件

③ ソーシャルリスニング

県重要施策に関連した 48 キーワードと、各所属が運用する SNS の 12 アカウ
ントを次により分析し、効果的な発信に向けて各所属に助言した。

ア 県重要施策関連キーワード分析

キーワードを含むソーシャルメディア上の投稿を収集し、話題分析、プレ/ポ
スト分析、ポジネガ分析を行い、訴求対象へより一層情報が届くよう助言した。

イ X (旧 Twitter) アカウ
ント分析

自アカウントと同様の情報発信やサービス展開をしている民間や他自治体のアカ
ウ
ントについて、反応の良い投稿などについて分析を行い、自アカウントのフォロ
ワー獲得に向けて助言した。

(2) コンテンツ推進

決算額 323,033 千円

群馬県のキラークンテンツの一つである「ぐんまちゃん」の認知度を世界的に高め、
本県のブランド力強化と県民の郷土愛の醸成を図ることを目的に動画コンテンツの製
作・放送配信やプロモーションを実施した。

① ぐんまちゃんキャラバン隊

ぐんまちゃんを隊長とした「ぐんまちゃんキャラバン隊」がイベントや県内幼稚
園等を訪問して、群馬県の PR や子ども達の郷土愛の育成、県民プライド醸成に取
り組んだ。

- ・ 出動回数：309 回 (内訳：イベント等 192 回、幼稚園等：76 回、動画撮影等：41 回)

② アニメ放送・配信

令和 4 年度制作のアニメシーズン 2 を放送・配信した。

【アニメシーズン 2 参考】

区 分	内 容
制 作 話 数	全 39 話 (1 話約 7 分)
監 督	本郷みつる (「クレヨンしんちゃん」「キョロちゃん」など実績多数)

・ テレビ放送 (シーズン 2)

区 分	内 容
放 送 期 間	令和 5 年 4 月～7 月 30 分番組として全 13 回放送
放 送 局	全 4 局 BS フジ、群馬テレビ、TOKYO MX、AT-X

・動画配信

区 分	内 容
配信サービス	27 サービス (Lemino、アニメタイムズ、hulu、FOD ほか)

③ 公式グッズ制作

ぐんまちゃん公式グッズを制作・販売した。

区 分	内 容
ぬいぐるみ	種類：ぐんまちゃん 数量：1,000 個 種類：あおま 数量：500 個

④ ぐんまちゃん全国プロモーション実施

本県内外で「ぐんまちゃん」の認知度を向上させるプロモーションを展開した。

令和 6 年 1 月～3 月までの間、全国 5 都市をまわる「日本全国なかよしキャラバン」を開催し、幼稚園や商業施設などで、群馬県及びぐんまちゃんの PR を実施した。

・「NRC 全国キャラクター調査」結果

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度
全国認知度	42 %	43 %
好感度	8	8

⑤ ぐんまちゃん活動 30 周年記念「ご当地キャラカーニバル」

ぐんまちゃんの活動 30 周年を記念し、ぐんまちゃんをホストとする大型キャラクターイベントを初開催した。

区 分	内 容
開催日時	令和 5 年 9 月 30 日(土)、10 月 1 日(日) 両日とも午前 9 時 30 分～午後 4 時 00 分
会場	群馬県庁県民広場ほか
来場者数	3.1 万人(2 日間計)
参加者	92 キャラ(ホストのぐんまちゃん・あおま・みーみ含む) 79 団体(群馬県含む)

⑥ 海外プロモーション

北米最大級のアニメコンベンション「アニメエキスポ」に初出展した。

出展にあたりアニメ海外配信事業者であるエイベックス・ピクチャーズと共同出展した。

区 分	内 容
開催日程	令和 5 年 7 月 1 日(土)～4 日(火)
会場	米国・ロサンゼルスコンベンションセンター
来場者数	約 35 万人(4 日間合計)
内 容	ぐんまちゃんダンスパフォーマンス、グッズ販売、観光 PR 等

⑦ ぐんまちゃんお誕生日会

ぐんまちゃんが主催するファンイベントとして、「ぐんまちゃんお誕生日会」を開催した。

区 分	内 容
開 催 日 時	令和 6 年 2 月 22 日(日) 午後 6 時 00 分～7 時 30 分
開 催 方 法	有料開催（中学生以上 1,000 円、小学生以下 500 円）
会 場	昌賢学園まえばしホール 定員：1,100 名
出 演 者	・ぐんまちゃん、あおま、みーみ ・高橋花林、内田彩、小倉唯、出口たかし、中野美優、じゅじゅ ・県内外のキャラクター計 13 団体 ・司会：寺嶋由芙

⑧ 「劇団ぐんまちゃん」

ア YouTube チャンネル「劇団ぐんまちゃん」

未就学児とその親世代をターゲットに、ぐんまちゃん和他キャラクターが、童謡や手遊び歌を配信し、群馬県とぐんまちゃんの魅力を発信した。

・総再生回数 1,890,448 回 公開曲：62 曲

イ 「劇団ぐんまちゃん」コンサート

YouTube チャンネル「劇団ぐんまちゃん」の人気曲を中心に、ぐんまちゃん等による寸劇、童謡や手遊び歌、ダンス等を内容とする公演を実施した。

区 分	内 容
開 催 日 時	①令和 5 年 11 月 12 日(日)、②令和 6 年 1 月 27 日(土) 各日 2 回午前午後公演
開 催 方 法	有料開催（中学生以上 1,000 円、小学生以下 500 円）
会 場	群馬会館（定員：258 席）
出 演 者	・ぐんまちゃん、あおま、みーみ ・出口たかし、中野美優、じゅじゅ

⑨ ぐんまちゃんの情報発信

ア ウェブサイト「ぐんまちゃんオフィシャルサイト」にぐんまちゃん関連の情報を集約・発信するとともに、アニメ公式ページによりアニメを周知した。

イ ぐんまちゃん本人の SNS アカウントを運用して、全国に情報発信を行った。

区 分	フォロワー数
【X(旧 Twitter)】 ぐんまちゃん	約 4.8 万人
【X(旧 Twitter)】 公式情報	約 1.0
【Instagram】 ぐんまちゃん	約 4.1
【TikTok】 ぐんまちゃん	約 2.9

⑩ ぐんまちゃんのデザイン利用許諾

ぐんまちゃんの利用許諾制度の運営及び利用促進を図るため、利用の手引きに掲載するイラストの追加を行った。

・許諾件数：令和5年度 1,113 件（令和4年度 867 件／令和3年度 991 件）

⑪ ぐんまちゃんの著作権契約・権利保全

ぐんまちゃん及び関連キャラクターについて、国内の商標登録及び海外の著作権登録を行い、権利保全を行った。

(3) 広報活動

決算額 155,589 千円

県政に対する県民の理解を深めるため、広報紙・テレビ・ラジオ等を活用し、迅速かつ確かな県政情報の発信に努めるとともに、子どもや高齢者・障害者等にも配慮した、分かりやすい広報を積極的に行った。

区 分		事 業 量		事 業 費
刊行物	ぐ ん ま 広 報	560,500 部／回	1回	100,604 千円
		548,500	7	
		529,500	4	
	t s u l u n o s P L U S	年4回発行		4,275
		548,500部／回	3	
529,500		1		
点 字 広 報	350部	12	2,118	
声 の 広 報	155本	12	430	
テレビ	県政インフォメーション 群馬テレビ「ニュースジャスト6」内	番組内コーナー（1分30秒）	205	16,643
ラジオ	ぐんま情報トッピング	4分番組	208	14,229
	ワイグル P R E F	1分55秒番組	205	6,923
	コ ミ ュ ニ テ ィ F M		803	8,784

(4) インターネット広報

決算額 34,611 千円

主としてインターネット情報通信技術の特長を生かした迅速で細かい情報提供を行うなどにより、県民の県政参加への関心を高めた。

区 分		事 業 量		事 業 費
電 子 媒 体	県 ホーム ペ ー ジ	全体アクセス件数		30,255 千円
			約 3,400 万件	
	県 X (旧 Twitter)	フォロワー数	66,000 人	
	県 LINE (群馬県デジタル窓口)	友だち数	802,093	4,356

(5)映像プロモーション

決算額 90,998 千円

① 動画・放送スタジオ運営

県庁 32 階展望フロアにある動画・放送スタジオ「tsulunos」を活用し、県民に県政情報を届ける動画や、国内外に県の魅力を発信する動画を制作、発信した。

区 分	事 業 量	事 業 費
スタジオを活用した動画制作	動画本数	1,280 本
	総再生回数	3,947 万回

② YouTuber 等を活用した県政情報発信

インフルエンサーを活用し、県内を撮影地とする観光PR動画を制作・発信した。

区 分	事 業 量	事 業 費
インフルエンサーを活用した群馬県観光PR番組制作	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンサーを活用 ・動画本数 4 本 ・動画総再生回数 53 万回超 	7,700 千円
群馬県PRショート動画制作	<ul style="list-style-type: none"> ・TikToker を活用 ・動画本数 10 本 ・動画総再生回数 370 万回超 	8,498
湯けむりフォーラム関連 (戦略企画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンサーを活用 ・動画本数 3 本 ・動画総再生回数 15 万回超 	1,224

③ メディアミックス戦略高度化

複数のメディアを活用し、幅広い世代や訴求層に向けて情報発信を行った。

区 分	事 業 量	事 業 費
群馬県観光PR番組制作	<ul style="list-style-type: none"> ・タレントやモデルを活用 ・tsulunos、BS フジ放映、TVer 配信等 ・動画本数 5 本 ・動画総再生回数 7 万回超 	10,300 千円
SNS インフルエンサーを活用した群馬県PR番組制作	<ul style="list-style-type: none"> ・VTuber を活用 ・tsulunos 及びホロライブ公式 YouTube ・動画本数 9 本 ・動画総再生回数 32 万回超 	7,196
群馬県PR生放送番組制作配信	<ul style="list-style-type: none"> ・桐生市・みどり市から伊香保温泉をつなぐルートの魅力紹介を、バスツアーにより生配信 ・tsulunos 及びニコニコ生放送 ・動画本数 1 本 ・動画総視聴回数 15 万回超 	4,950

区 分	事 業 量	事 業 費
群馬県動画スタジオを活用したカラオケ大会実施・生配信	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁開催のアニメイベントとあわせ、tsulunos スタジオを活用したアニメソングのカラオケ大会を開催し生配信 ・tsulunos 及びテレビ東京公式 YouTube ・動画本数 1 本 ・動画総視聴回数 11 万回超 	14,300 千円
群馬県 PR ショートドラマ制作	<ul style="list-style-type: none"> ・9 組 22 人のインフルエンサーを活用 ・tsulunos 及び studio15 の YouTube、TikTok 等 ・動画本数 49 本 ・動画総再生回数 986 万回超 	10,113
新・群馬県総合計画等の普及啓発（戦略企画課）	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の普及啓発を行うためショート動画等を制作 ・TikTok、広報紙 5,000 部 ・動画本数 20 本 ・動画総再生回数 20 万回超 	5,000
温泉文化特集の制作（文化振興課）	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉文化推進事業として東京 MX「5 時に夢中」内で温泉文化に関する特集を 6 回放映 ・東京 MX、群馬テレビ、とちぎテレビ、東京 MX YouTube 	9,350

(6) 記者室運営

決算額 9,134 千円

記者会見や資料提供等により、報道機関に対する積極的な情報提供を行い、県民に対する情報発信を充実した。

区 分	事 業 量	事 業 費
記 者 会 見	144件（県:75、その他:69）	9,134千円
資 料 提 供	4,566（県:2,178、その他:2,388）	

3 デジタル化推進費

(1) デジタルトランスフォーメーション推進

決算額 102,605 千円

① ぐんまDX加速化プログラム推進

日本最先端クラスのデジタル県を目指し、様々な分野で自立的なDXの流れを作ることを目的として令和3年度に策定した「ぐんまDX加速化プログラム」を推進した。

「新・群馬県総合計画（ビジョン）」に掲げる19の政策分野で、計112事業実施し、全体の9割について目標を達成した。

また、後継となる「新・ぐんまDX加速化プログラム」を策定した。

② 地域課題解決プロジェクト

各分野の行政課題をデジタル技術により解決するための実証事業を実施した。

区 分	事業内容	実証成果	事業費
相談手続きのオンライン化	土木事務所では、業者の飛び込み相談が多く即座の対応が難しい。そこで、オンライン予約、メールで資料を事前送付することにより相談業務の効率化を目指した。	・対面相談数：94%減 ・時間外の相談も受け付け可（約 13%が時間外に申請）	
道路の損傷状況の自動収集 ・データ化	道路損傷を目視で確認するパトロール業務を、ドライブレコーダーの画像をもとに AI で検知/分析できるか検証する。	・システムでは検知できない損傷及び歩道やガードレールの異常を検知できない等、課題も明確になった。	1,600 千円
森林計測アプリ導入による業務効率化	林業分野の測定業務において、モバイル端末及び計測アプリ等を活用できるか検証する。	・計測内容によっては誤差があるが一部の業務に活用できる可能性を見出せた。	451
デジタル窓口を活用した性感染症に関する啓発・検査予約	群馬県デジタル窓口に性感染症の窓口を設置することで、若年層にも効果的に周知を行うとともに、性感染症検査のオンライン予約を可能にした。	・検査予約の約半分がオンラインで行われ、女性の受診者が増えた。	

③ 群馬デジタルイノベーションチャレンジ

DXの発想やデジタルスキルを活用して、地域課題の解決や新たな価値を生む「デジタル人材」の育成事業を実施した。また、子どもたちがデジタルスキルを習得する機会を広く提供した。

区 分	実 績	事業費
県立高校の部活動支援	・講師派遣計回数：68 回 ・プログラミングコンテスト入賞 ・参加生徒：86 人	20,630 千円
地 域 I C T ク ラ ブ	・講座実施回数：20 回 ・参加児童：約 38 人	

④ 官民共創スペース運営・活用

官民共創スペース NETSUGEN において、会員数増加に向けた取組や、交流事業を行った。

区 分	実 績	事 業 費
会 員 数 の 状 況	月額法人会員 91 社 月額個人会員 85 人	65,991 千円
交 流 事 業 の 開 催	361 回	

4 業務プロセス改革費

(1) 行政改革推進 決算額 21,813 千円

① 行政改革推進

県行財政改革大綱に基づき、県政のデジタル化推進や多様で柔軟な働き方の実現等に向けた行政改革の取組を行った。

『日本最先端クラスのデジタル県』を目指し、大綱におけるDXの取組を抽出した群馬県庁DXアクションプランに基づき、行政手続のオンライン化等に取り組んだ。

② ぐんま電子申請受付システム運用

行政手続の申請・届出等をインターネットを利用して行う「ぐんま電子申請等受付システム」を市町村と共同して運用した。

区 分	利 用 件 数
電 子 申 請 受 付 シ ス テ ム	157,967 件

(2) 自治体DX 決算額 459,989 千円

① マイナンバーカード取得促進

前年度から引き続き商業施設に申請サポート特設ブースを設置（令和5年4月、6～8月）したほか、新たに各種施設での訪問サポート窓口を設置（令和5年6月～令和6年2月）するなど、各種申請促進施策を実施した（交付率 78.4%（令和5年度末現在））。

② 社会保障・税番号制度推進

マイナンバー法の規定による情報連携を行うための情報システム（番号連携サーバー）の運用保守及び更新を行った。

③ 情報セキュリティ

職員の情報セキュリティに係る意識を高め、サイバー攻撃による情報漏えい等の被害を防止するため、研修やeラーニング（6,271人受講）、標的型攻撃メール訓練（1,318人対象：48所属）を実施した。

また、高度なセキュリティ対策を行うため、県と市町村等 38 団体が、共同で群馬自治体情報セキュリティクラウドを運用した。

(3) デジタル基盤整備 決算額 2,754,877 千円

① 県庁情報通信ネットワーク運用管理

無線 LAN、テレワークシステム、グループウェアを取り入れ、新たな働き方に対応した第5次県庁情報通信ネットワークの運用管理を行った。

② 庁内ネットワーク用パソコン等整備

職員が、群馬県庁情報通信ネットワークに接続し、文書、資料等の作成や、各種業務システムへのアクセスに使用する、行政事務用パソコン・プリンタの運用保守を行った。

③ 総務事務システム運用管理

給与・旅費、文書管理などの内部事務に係るコストを削減するため、総務事務システムの運用管理を行った。

また、次期総務事務システムの構築では、昨年度から継続して設計、開発を行い、新システムとして運用を開始した。

④ 財務会計システム運用管理

歳出管理、予算編成、公有財産などの会計事務をつかさどる財務会計システムの運用管理を行った。

また、次期財務会計システムの構築では、昨年度から継続して設計、開発を行い、新システムとして運用を開始した。

5 グリーンイノベーション推進費

(1)カーボンニュートラル推進

決算額 59,099 千円

① 地球温暖化対策実行計画推進

出前講座等を実施し、地球温暖化の現状や対策について普及啓発を実施した。また、事業の進捗確認として、県内温室効果ガス排出量を算出した結果、2020年度の県内温室効果ガス排出量は、16,263千トン（CO₂換算）であり、「地球温暖化対策実行計画（改訂版）2011－2020」の目標である対基準年度（2007年度）8%削減を上回る16.8%の削減を達成した。

② 地球温暖化対策実行計画改定

地球温暖化対策推進法の改正等に伴い県計画を見直し、県の事務事業にともなう温室効果ガスの削減目標を上方修正するとともに、個別の取組を追加する等の改定を行った。

③ 県有施設脱炭素化推進

ア 県有施設の温室効果ガス排出量削減の推進

群馬県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、各所属・施設ごとに、エネルギー使用量等削減の目標・計画を定め、県の事務事業に伴う温室効果ガス排出削減を図った。

イ 県有施設省エネ改修

県有施設脱炭素化可能性調査（2施設）を行い、1施設においてZEB化対応の可能性が示された。

④ 群馬県気候変動適応センター運営

適応策について県民等への普及啓発を目的として情報収集を行った。特に熱中症対策では、国立環境研究所との共同研究を開始するとともに、民間企業と連携した予防啓発を実施した。

⑤ EVカーシェアリング実証実験

県有施設5か所にEV20台を導入し、平日は公用車として、休日は地域住民等とシェアするEVカーシェアリング実証実験を開始した。

区 分	利 用 回 数	期 間
平日公用車利用	1,812回	令和5年8月～令和6年3月
休日カーシェア利用	96	令和5年9月～令和6年3月

⑥ カーボンクレジット普及推進

森林由来のカーボンクレジット普及推進のため、県有林において森林調査からクレジット創出までのシミュレーションを行った。その結果、クレジット創出に適した森林や手続きコスト、森林の長期経営に係るリスク等の課題が整理された。

(2)再生可能エネルギー推進

決算額 276,331千円

① 再生可能エネルギー導入の促進

県民及び県内事業者の再生可能エネルギーの導入を促進するため、以下のア～ウの事業を引き続き実施した。

ア 低利の「融資制度」

イ 設備導入時の初期費用が0円になる仕組みである「初期費用0円事業」

ウ 一括発注し購入することでスケールメリットを働かせて設備導入時の初期費用を低減する取組である「共同購入」

事業概要	内 容
住宅用太陽光発電設備等導入資金	認定27件 融資額60,146千円
事業用再生可能エネルギー設備等導入資金	認定2件 融資額43,340千円
住宅用太陽光発電設備等初期費用0円事業	5事業者9プラン登録、35件成約
事業用太陽光発電設備等初期費用0円事業	3事業者3プラン登録、9件成約
住宅用太陽光発電設備等共同購入	市場価格比で約20%割引で購入 1,163件申込、53件成約
事業用太陽光発電設備等共同購入	市場価格比で約20%割引で購入 28件申込、4件成約

② バイオマス活用推進

群馬県バイオマス活用推進計画（第3次群馬県循環型社会づくり推進計画に統合）に基づき、バイオマスの種類ごとの賦存量及び利用量等の進捗状況を調査した。

また、農林水産省の「みどりの食料システム戦略推進交付金」を活用し、民間事業者が行う地域内のバイオマス（事業系生ごみ）を活用したメタン発酵による発電施設整備に要する費用の一部を補助した。

・バイオマス利用率(全種別合計：炭素換算)

計画策定時（令和2年度）	令和4年度	目標（令和12年度）
80%	77%	80%

(3) グリーンイノベーション加速化支援

決算額 36,555 千円

① 脱炭素経営戦略相談会

脱炭素の目標設定や具体策等に関する県内事業者の相談に専門家が応じる相談会を開催し、16件の相談に応じた。

② カーボンニュートラルビジネス支援補助金

脱炭素化に資する新製品やサービスを開発しようとする事業者に対して補助金を交付し、新たなビジネスの創出を支援した。(7件、34,672千円)

③ 革新的環境イノベーションコンソーシアム

製造業企業、金融機関、エネルギーインフラ企業、大学及び県の計17団体からなるコンソーシアムにおいて、意見交換会及び先進地視察を実施した。また、中小企業の脱炭素経営を促進する資料を共同で作成したほか、県の環境教育事業の改善を行った。

6 交通イノベーション推進費

(1) 交通まちづくり戦略推進

決算額 370,599 千円

ICTを活用した利便性向上により、過度なマイカー依存から公共交通への転換を促すため、スマートフォンひとつで、目的地までのルート検索から、予約、決済までの手続きを一括で可能とする交通系アプリケーションである群馬版MaaS「GunMaaS」(グンマース)の地域の普及拡大に取り組んだ。

また、バス事業のDX化に向けた意識醸成を図るため、公共交通におけるデータ活用をテーマとしたイベントや研修会を開催した。

区 分	登録者数	事業費
MaaS社会実装支援	12,455人	364,112千円

(2) 地域交通対策

決算額 842,910 千円

① 路線バス対策

県民の生活に欠かせない移動手段である路線バスを維持し、その利便性を向上させるため、路線バスを運行するバス事業者や市町村等に対して、運行費の補助を行った。

区 分	対象数	補助金
バス運行対策費補助	運行費補助	4社 17系統 58,485千円
	車両減価償却費等補助	4社 17両 21,273
市町村乗合バス補助	運行費補助	25市町村等 77路線 144,182
計		223,940

② 運輸事業振興対策

群馬県トラック協会及び群馬県バス協会に対し運輸事業振興助成交付金を交付し、これにより環境対策事業や交通安全対策事業、バス停整備事業等が実施された。

区 分	対象者数	交付金
運輸事業振興助成交付金	2団体	395,284千円

③ 運輸事業者等燃油高騰対策

燃油高騰の影響を受けている運輸・運送事業者に対して、国の臨時交付金を活用した支援を実施した。

区 分	対象者数	補助金
運輸事業者等燃油高騰対策	820事業者	186,601千円

④ M a a S 普及促進

新型コロナ及び燃油高騰等の影響を受けている県内のタクシー事業者の支援策として、群馬版M a a Sに協力し、参画する事業者に対して、国の臨時交付金を活用した支援金による支援を行うとともに、タクシー配車システムの導入を行う事業者には導入経費の一部を補助した。

区 分	対象者数	補助金
群馬県 MaaS 普及促進等支援金	28事業者	32,280千円
群馬県 MaaS 普及促進等経費補助金 (タクシー配車システム導入経費補助)	15	4,565

(3) 鉄道振興

決算額 210,602 千円

上毛電気鉄道及び上信電鉄が実施する線路・電路等の鉄道基盤設備の維持費に要する経費に補助し、中小私鉄の運行維持及び安全の確保を図った。

区 分	対象者	補助金
上 毛 線 鉄道基盤設備維持費補助 活性化・再生対策	上毛電気鉄道(株)	100,564千円
上 信 線 鉄道基盤設備維持費補助 活性化・再生対策	上信電鉄(株)	108,703
計		209,267

(4) 公共交通整備

決算額 323,787 千円

① 市町村乗合バスの車両整備促進

県民の生活に欠かせない移動手段である路線バスを維持し、その利便性を向上させるため、路線バスを運行する市町村に対して、車両購入費の補助を行った。

区 分	対象数	補助金
市町村乗合バス補助 車両購入費補助	6団体6両	15,770千円

② 鉄道整備促進

・ステーション整備

駅施設や駅周辺の交通関連施設の整備を支援することにより、鉄道利用の利便性向上や地域の活性化を図った。

区 分	対象者	補助金
J R 群馬総社駅西口新設等基本設計	前橋市	1,164千円
J R 群馬総社駅駅前広場基本設計	前橋市	4,974

③ 鉄道輸送対策

上毛電気鉄道の踏切保安設備の更新、上信電鉄の道床更新及びわたらせ渓谷鐵道のレールの重軌条化など、安全性向上に資する設備整備に対して補助し、中小私鉄の運行維持及び安全の確保を図った。

事業名	対象者	整備内容	補助金
輸送対策 事業費補助	上毛電気鉄道(株)	車両更新、レール重軌条化、踏切保安設備更新	121,516千円
	上信電鉄(株)	道床更新、変電所監視装置更新等	64,860
	わたらせ渓谷鐵道(株)	信号保安設備更新、レールの重軌条化等	24,100
計			210,476

④ 公共交通再構築事業調査

県内中小私鉄3社の今後のあり方や公的支援のあり方等について議論を行うための基礎調査を実施するとともに、沿線ごとに法定協議会を立ち上げ議論を開始した。

区 分	事業費
公共交通再構築事業調査	89,903千円

7 地域外交費

(1) 国際政策推進

決算額 81,261千円

令和5年度は知事によるトップ外交を実施し、海外要人とのハイレベルな人脈を構築するとともに、先進的取組を視察し県政への反映に努めた。

区 分	実 績
米国	堤ヶ岡飛行場跡地活用を踏まえた現地大学やスタートアップ企業の先進的な取組の視察 米国最大手クリエイティブ企業との関係構築 など
ベトナム	ベトナム政府首相との現地会談 ベトナム政府首相来県 ベトナムのハナム省との協力に関する覚書締結 など
スコットランド	SEL教育(社会情動的スキル)の研究に関連した政府関係機関及び大学等との関係構築 など
韓国	韓国政府閣僚との会談 韓国のデジタルクリエイティブ産業の視察 など

(2) 上海事務所運営

決算額 27,687千円

上海事務所において、職員が現地駐在する強みを生かした上海市政府とのコネクションの構築・強化を基盤とし、県産品のPRや、販路開拓を行った。また、群馬県と上海市との交流強化を目的として、環境をテーマにしたオンライン交流や青少年交流等を行った。

区 分	実 績
観光誘客促進（旅行社等訪問、来所相談、観光展出展）	40 件
県産品 P R（事業所等訪問、来所相談、物産展出展）	53
企業のビジネス展開支援（県内企業訪問、来所相談）	7
情報発信（ウェイボー）フォロワー数	58,071 人

(3) 国際交流推進

決算額 20,912 千円

① グローバル始動人テイクオフ

区 分	主 な 内 容
トークセッション・「世界発信力向上講座」・プレゼンコンテスト	県内の生徒・学生を対象に、世界で活躍する講師によるトークセッションや「世界発信力向上講座」、英語によるプレゼンコンテスト等を開催した。 ・参加者数 56 名
米国インディアナ州への高校生・大学生派遣	プレゼンコンテストのグランプリ受賞チーム（高校生 2 名・大学生 2 名）を米国インディアナ州へ派遣し、現地の高校・大学における学生交流や企業訪問等を実施した。
小・中学生のための国際理解講座	県内の小・中学生を対象に、JICA 海外協力隊経験者による国際協力講座や国際交流員による異文化理解講座を実施した。 ・参加校数 小学校 6 校 中学校 3 校

② 県民向け国際交流イベントの実施

県内の民間国際交流団体等と連携して国際交流イベントを実施し、県民の国際理解促進及び県内在住の対象国関係者との関係構築を図った。

区 分	主 な 内 容
台湾フェア in 群馬 2023（令和 5 年 7 月 8 日～7 月 9 日・県庁 1 階県民ホール）	台湾の食や文化を体験できる交流イベント（文化体験、ステージ企画、飲食物販売等）を実施。 ・来場者数 約 8,000 人
ぐんまベトナム交流祭（令和 6 年 2 月 17 日～2 月 18 日・県庁 1 階県民ホール）	ベトナムの旧正月「テト」をテーマとした交流イベント（文化体験、ステージ企画、飲食物販売等）を実施。 ・来場者数 約 7,000 人

③ 海外県人会、海外ぐんまサポーターズとの連携

海外県人会等を群馬県の応援組織として委嘱し、現地の人脈づくりや情報収集等で協力をしてもらうことで、海外自治体や海外県人会等とのネットワーク構築を図った。

・ 県人会等の活動状況

区 分	構成員数	主 な 活 動
在伯群馬県人文化協会	61 人	・ 移住者相互親睦、生活援護指導
在北伯群馬県人会	22	
在パラグアイ群馬県人会	97	
南加群馬県人会	74	
ハワイ群馬県人会	47	
フィリピン群馬会	53	
上海群馬県人会	90	・ 上海事務所に各種情報を提供 ・ 会員間相互親睦
香港ぐんまサポーターズ	21	
ハノイぐんまサポーターズ	23	

④ 語学指導等を行う外国青年招致（JETプログラム）

県及び市町村、私立学校等において国際交流員及び県内学校の英語指導助手（ALT）を受け入れ、本県地域レベルの国際交流推進と英語教育充実を図った。

・ JETプログラム活動状況

区 分	主 な 内 容
英 語 指 導	英語圏各国から来日した 188 人の英語指導助手が小学校、中学校、高等学校等で英語指導に従事した。
国 際 交 流	各国から来日した 4 人の国際交流員が、自治体の国際業務（翻訳、通訳、住民向け語学講座、インバウンド観光PR等）に従事した。（配置先：県、前橋市、富岡市）

(4) 旅券発給

決算額 26,351 千円

旅券法に基づき海外渡航に必要な一般旅券の作成・検査や旅券申請・交付の窓口である市町村旅券窓口業務の支援を行った。令和5年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響等もあり、旅券の申請件数及び発行件数が大幅に増加した。

- ・ 旅券申請件数 令和5年：34,465件、令和4年：11,121件、令和3年：4,647件
- ・ 旅券発行件数 令和5年：34,176件、令和4年：10,870件、令和3年：4,627件

男女別		有効期間別		
男	女	10年	5年	その他
16,121件	18,055件	21,490件	12,682件	4件